

情報リテラシーを身につける

瀬野光孝

東京都立山崎高等学校教諭

1 ねらい

NIEで“情報リテラシー”を身につける。

1. 情報の収集能力と読解力

- ①情報の収集：必要な情報を新聞をはじめ、インターネットなどからの確に収集する。
- ②情報の取捨選択：収集した情報を理解しテーマを考えて情報を取捨選択する。
- ③情報の加工：主体的に設定したテーマに従って情報を加工する。

2. 情報の表現（発信）能力と情報の更新

- ①情報の洗練：発表、討論やディベートなどを行い独自の考えを形成する。
- ②表現の工夫：相手が理解しやすいような表現方法を工夫する。
- ③情報の更新：自ら表現した内容は常に見直しを行う。

2 NIE教育とインターネット

情報化というとコンピューターの操作に注目が集まる。しかし、テレビゲームで育った今の若者はコンピューターの操作はそんなに抵抗なく身につける。むしろ、インターネットをはじめとするネットワーク社会では匿名の情報が濁流のように大量に流れているので、

- ①的確な情報判断…情報の真偽や必要性を見分けるなど、批判的に情報を認識できる。
- ②社会的常識…反社会的情報や個人に対する中傷などに的確に判断し対処できる。
- ③ネチケット…ネットワーク上のエチケットを守る。
- ④積極的に情報を発信する。

といったような能力を身につけることの方がより重要である。

下表にまとめたようにこの能力はNIEで身につけることが一番である。

〈教室で身につけたい能力〉

NIEで情報処理の基本を学ぶ
1. 自分で課題を見つける。
2. 新聞記事（情報収集）を集める。
3. 取材する（図書館、現地取材、電話取材）。
4. 情報の内容を理解する（真偽の判断）。
5. 情報の取捨選択。
6. 新聞記事から様々な意見に耳を傾ける（多様な視点の獲得）。
7. 自分なりに考える（意見の形成）。
8. 発表や討論で自己の意見を主張する（相手を意識した表現）。

〈インターネットを实际使って伸ばす能力〉

インターネットで情報収集 インターネットで主体的な表現活動
1. ホームページから必要な情報を探す。
2. ホームページの内容を理解する。
3. Eメールで情報収集と意見交換。
4. ニュースグループで情報収集と意見交換。
5. メールマガジンに自分の意見を発表する。
6. 自分のホームページを作る。
7. ホームページに自分の考えを載せる。 (多様な表現方法を使いこなす)
8. ホームページの情報を常に更新する。

「教室で身につけたい能力」は基礎編、実践編で多様な提案が成されているので、発展編「情報」では、特に「インターネットを实际使って伸ばす能力」について

- ①情報の収集について考える。
- ②メールマガジンを使って意見交換
- ③ホームページを作る。

この三つの観点から提案したいと思う。

3 インターネットを使って情報収集

1. 検索エンジンからホームページを探す。

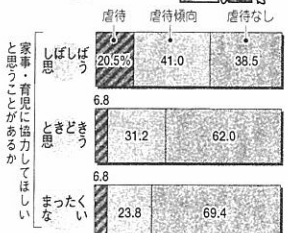
資料① 東京新聞 1999.4.22付朝刊

子育て苦悩の母親のほは十人一人、嫌悪した「(一)位でも放って」「(二)位でも放って」(三)位でも放って(四)位でも放って(五)位でも放って(六)位でも放って(七)位でも放って(八)位でも放って(九)位でも放って(十)位でも放って

母親の1割 子供を虐待

子育て苦悩、協力しない夫にイライラ

家事・育児についての夫(パートナー)への不満度と子供虐待の関係



孤立感、引き金か 一般対象 初の調査

社会的・経済的困難の七の項目について、その程度を調べた。子育てで最も苦しいのは「(一)位でも放って」「(二)位でも放って」以上が「虐待あり」と判明。孤立感が虐待の引き金となる傾向がある。

心理的背景の一端明らか 虐待傾向は、夫婦間のコミュニケーション不足、母親自身のストレス、子供の発達段階などによって生じる。

インターネットを使って「子どもの虐待」に関するホームページを探す。

検索エンジン Yahoo Japan (http://www.yahoo.co.jp/)

キーワードを指定してホームページを探す。

ジャンルからホームページを探す。

Table with 2 columns: 主なサーチ (検索) エンジンと URL. Includes entries for Infoseek, CSJ, NETPLAZA, PanaSearch, NTT DIRECTORY, and Lycos.

2. 新聞社の記事データベースから探す

Screenshot of the Pressnet search interface. It shows search filters, a list of search results with headlines like '個人情報保護に因り新聞協会が意見発表 New!', and a sidebar with navigation options.

日本新聞協会ホームページ「プレスネット」 http://www.pressnet.or.jp/ 全国の新聞社のホームページが分かる。

4 メールマガジンを使って情報発信

■◇■ パーチャル・ハイスクールNIE ■◇■

このメールマガジンは、インターネットの本屋さん『まぐまぐ』を利用して発行しています。(<http://www.mag2.com/>)

子育て真っ盛りの母親のほぼ10人に1人が、繰り返し「たたく」「泣かせても放っておく」など子どもへの虐待をしているという、社会福祉法人「子どもの虐待防止センター」の実態調査の新聞記事をもとに考えました。

△▼△1999年5月5日 創刊号△▼△

(1) 虐待と家庭のあり方について MK 17歳
今の時代、女性も男性と共に働くようになり、共働きが増えている。そうすると女性だけが子育てをするというのは、やはり難しいと思う。仕事と家庭を両立させるのは難しくストレスもたまる。その小さなストレスが蓄積するとやがて虐待へとつながってしまっているのではないかと。

今や子育ては夫婦二人でおこなっていくものだと思う。仕事も大変だけれども、家の中での仕事も大変だということも互いに理解し合い、互いを思いやり助け合っていくのが本当の夫婦というのではないか。そうなることによって子育ての大切さやおもしろさが分かってくるし、夫婦の絆も深まり子どもへの愛情も自然と注げるようになっていくと思う。

また、核家族化も一つの原因だと思う。もし祖父母と一緒に暮らしていれば、自分の子育ての先輩である父や母が子育てのアドバイスしてくれるのだから、子育ても楽になるのではとも思う。核家族化から近所つきあひも少なくなり、子どもについての相談など近所の友達同士で話す機会が少なくなってきてしまっているのも問題である。

これからの日本の教育の在り方を男性も女性も一緒に考えて行くべきではないだろうか。

(2) 自信と心のゆとりを持つこと ふーこ 17歳
「子どもの虐待防止センター」の実態調査結果を見て、子育てにおける虐待の多さを知り信じられなかった。

最近のニュースで、子どもが冷蔵庫の中のレトルトカレーを勝手に食べたことに腹を立てた親が、その子どもを虐待し、殺してしまったという事件があった。こんな事件が現実起こっているなんて恐ろしくて考えたくもない。普通なら親がいなくてお腹が減った子どもが、自分一人で食事ができるようになったことをほめてあげようと思う。少なくとも私ならそうする。

虐待をしてしまう親が出てきてしまうのは、親がその親に愛情表現をされていなければ、自分がたとえ愛情を持っていてもその表現方法が分からなくて、虐待をするという結果になってしまうのではないか。虐待をする親は、したくて虐待をしているわけではないと思うし、自分が虐待してしまうことに苦しんでいると思う。だから、しばらく子どもと離れて、自分がどれだけ子どもを大切に思っているかを考え直し、平常心を取り戻してから、再び子どもに接すればほとんどの人は解決できるのではないかと。

子どもを育てるためには、親に「私にも育てられる。」という自信と心のゆとりが必要だ。

(3) 子どもを思うのなら… 桜 17歳
子どもに対する虐待の実態調査で、母親の1割が虐待をしていることに驚いた。昔はごくまれな現象だったものが、今ではニュースなどでもよく耳にするようになってきているような気がする。

虐待をする理由は、夫が子育てに協力しないとか、色々あると思うけれど、何かがあってもその不満などを子どもにぶつけるのはおかしいと思う。夫が子育てに協力しないのなら、もっと夫婦間でお互いの言い分や改善して欲しい点など話し合えばよいと思う。母親自身が小さい頃にあまり愛情を注がれずに育ったのなら、それは逆に自分の子どもにはつらい思いをさせたくないと考えるべきである。虐待を受けた子どもは、成長しても周りの人が信じられなくなったり、社会に適應することができなくなってしまったりすると思う。子どもの将来を考える上で絶対に行ってはいけない行為だ。

虐待をなくすためには、国はもっとこの問題を深刻に受け止めて、きちんと法律を定め虐待をした人には罰を与えるべきである。

1. インターネットの本屋さん「まぐまぐ」(<http://www.mag2.com/>)に登録する。
2. 「まぐまぐ」のホームページや自分のホームページで読者を募集する。
3. 登録などはすべて「まぐまぐ」がやってくれる。
4. 新聞記事(資料1)を資料に討論をし、最後に意見文としてまとめる。
5. 「まぐまぐ」に送ると自動的に登録した読者に配信される。

Subject:
Date: Sat, 5 Jun 1999 17:30:22 +0900 (JST)
From: _____
To: _____

こんにちわ。
遅くなってしまってすみません。

3年生が書いたものを読んで、すごいなあ、と思いました。私は去年あんなに書いていたろうか、と・・・みんな結構真面目に考えているなあ、と思いました。確かにそのとおりで、核家族化や共働きや近所との付き合いが希薄やら・・・現代の子育てはなかなか難しいそうです。子育てをする環境が整っていないのが大きな問題だと思います。産休はあっても、その後子供と一緒に過ごす時間がなかなか取れなくて、その間に子供はどんどん大きくなっちゃうし・・・可愛がる暇が無いですすね、現代の大人は。子供と一緒に夏休みを取るくらいの気持ちがないと、子供も可愛そうです。

記事を読むと、まるで世代連鎖が多いように見えますが、実は、世代連鎖はそんなに多くありません。自分が虐待を受けていた人は、自分も虐待をしてしまっているのではないか、と、恐れるあまり結婚を考える人もいますが(人間不信っぽい人もたくさんいる)、世代連鎖は確か2〜3割くらいだったと思います。

記事に書いてあるのは、母親からの虐待だけでしたが、父親からも結構あるようです。娘は可愛がるが、息子に嫉妬して虐待したり(奥さんを取られた気分になるらしい)。ギャンブル好きで経済的に困っている父親は虐待が多いようです。あとは、性的虐待。これが一番嫌いです。

虐待に関して思うことは、きちんと子供を育てられないのなら産むな、ということ。虐待している親は、自分は子供に食事を与えない、学校に行かせない等、子育てを放棄しているくせに、福祉関係の人が施設に入れることを薦めてもそれに応じない。子供が死ぬまでいじめる。最悪です。子供をおもちゃだと思っているんです。虐待に関するものを読んで、一番嫌だったのが、父親の性的虐待。舐める、舐めるなんて序の口で、娘が10代のうちに7人も自分の子供を産ませた例があるんです。まったく、娘を何だと思っているんでしょう！

虐待する親が、自己嫌悪を抱いている場合は、周りの協力で結構治るようです。厄介なのは、子供をヒトとして見ない親です。そりゃあ、自分はストレスが発散できて良いでしょう。しかし、子供の方は迷惑です。逃げ出す場所も無いままいじめられて、心に負った傷は一生消えないのですから。

子供が子供を産んで、そのまま育てているのだから恐ろしいものです。つい最近、虐待されている子供を診たら、報告しなければならぬという通告義務が医師に課せられましたが、それが効果を発揮するかどうか・・・

読者から返事が返ってきた。
授業の中で討論し返事を書く。

メールを送ってくださった読者の方への返事

父親の性的虐待の話はびっくりしました。もし自分の父親が…と思うとぞっとします。そのような親がいるから子どもが内向的な性格になり、学校でいじめられたり、もしくはいじめの側になってしまうという“いじめ”が発生するのではないのでしょうか！
子供に恐怖感を与えるような親は親ではないと思う。

私も自分の子供に対して、虐待をする親は最低な人間だと思います。何があっても、守らなくてはいけない存在の親が虐待をすることは、子供にとっては大きなショックとなり人間不信になってしまうと思います。
自分の子供だから、何をしてもよいというのでしょうか。自分の子供だからそこかわいがるのが本当の親なんではないのでしょうか。

父親の性的虐待の件は、驚きました。10代のうちに7人も子供を産ませるなんて、私にとって、その後も気になります。本当に怖い親が、この世の中にいるとぞっとします。子供の虐待を、早く良い方法を見つけることは、できないのでしょうか。そのような子供を見ても、本当に報告するだろうか。どこからが虐待なのかも分からないし、子供が悪いことをしたら、叱るのは当然だし、その線も難しいです。そうなれば、やはり幼稚園の先生などが気付かなくてはならないかもしれない。

子供は親に迎えられて生まれてくるのに、どうして世間の母親、父親（一部です）の様になるのでしょうか。確かに高校生という気楽な立場でいる今、好きなことをやっているにもかかわらず自分の波がある。それが、大人になり、子どもを持ち、夫の協力も得られない、となったらどうなるのか、何とも言えないかもしれません。一概に決めつけることはできないかも、と思います。

しかし、父親による性的虐待など、こればかりはいかなる理由も通らないでしょう。先輩からの情報にはショックを受けました。10代で7人の子供…？父親失格の前に、まさに人間失格でしょう。自分が女であるので少なからず虐待を受けた少女の気持ちは察しているつもり。けれど、この私の考えでさえ本人のものとは、比べものにならないと思います。父親からそんなことされたら、私ならきっと、辛くて死にたいと思うかもしれません。この状況を少なからず、聞いた人だけには、そういう人間にはなって欲しくないと思っただけです。

私は、テレビで私たちと同じくらいの年代の女の女子に「今の彼との間に子供ができれば産みますか？」というインタビューを見た。もちろん、ほとんどの人たちは「産みたい」と答えた。私も確かに今子供ができれば「産みたい」と思うだろう。でも、そのテレビの中で専門家の方は「子供が子供を産む。」と言った。法律では、女子は16歳から結婚して良いことになっている。けれど、16歳なんて考えてみればまだまだ子供、その子供が子供を産むということは考えられないことだということに気付いた。産まれてきた子供がかわいそう。親の勝手に産まれて、そして虐待されて死んでいく。そんなかわいそうな子供がいると信じたくない。しかし、実際日本で虐待事件が増えている。それが私には耐えられないと思う。だから、私はそんな親子が減って欲しいと思う。そのためには、親になるために必要なことを学んで欲しい、しっかり休養もって欲しいと思った。私も保育者になるためにはそのことを把握しなければならぬと思った。

実際の例などを知ってびっくりしました。何で子供をヒトとして見ていない親なんているのでしょうか。少しでもかわいそうと思う気持ちはないのでしょうか。疑問がいっぱいです。もう少し私も虐待の記事を読んだり注目して虐待されている子供を見て助けられるような人になりたいです。

最近、子供への虐待がとても多いことが気になります。なぜこのようなことが起こってしまうのでしょうか。私は、無計画な性行為が原因だと思います。別に子供が欲しいわけではないのに、できてしまい、仕方なく子育てをする。という、この気持ちがいけないと思います。子育てというのは、体力的に大変なだけでなく、お金もたくさんかかります。この不景気で、自分一人生活していくのも大変なのに、そんな気持ちで、子育てができるとは思いません。1人1人がよく考えて行動し、計画的に子供を産んでいけば虐待は少しでも減ると思います。

5 ホームページを使って情報発信


生徒の作品はホームページに

1. テーマ別
2. 個人別のページとして収録される。

バーチャル・ハイスクールNIE


トップページ 今回のテーマ テーマ別のページ 個人別のページ 更新日 1999年6月3日

あなたは **7437** 番目のお客様です。



私たちのホームページをご覧いただきありがとうございます。
授業の中で新聞を読みながら社会のことについていると考えました。

[バーチャル・ハイスクールNIE登録画面へ](#)

 [私たちの文章をお読みになり、是非ご意見をお寄せ下さい。](#)